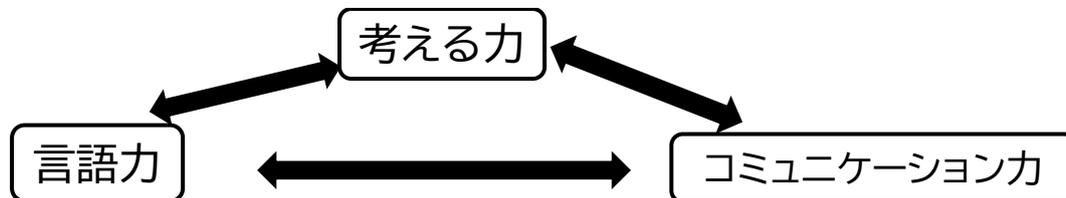


《令和4年度学校教育目標》

18歳になった時の生徒の姿をイメージし、生きる力を保障する中宮中の教育
自分と社会を結びつけて考え、行動できる力を育成する

《中宮中生にはぐくむ3つの力》



考える力…主体的に物事をとらえ、多角的、多面的に考えることができる力
 言語力…相手の考えを読みとり、聞きとる力・自分の考えを書き、話して伝える力
 コミュニケーション力…人とつながり、協働して答えを導き出す力・豊かな人権感覚
 ※タブレットなどICTを正しく活用し、必要な情報を手に入れ、発信する力

★3つの力を育てるため、教育活動の内容の充実と見直しに、取り組めます。

《令和4年度の取組みのポイント》

その1 「主体的・対話的で深い学び」の視点の授業づくりと評価の充実を進めます。

評価の観点	何を評価するか	どのように評価するか(例)
知識・技能	個別の知識や技能が習得できているか。	基本や応用のペーパーテスト等
思考・判断・表現	各教科の知識や技能を生かして課題を解決するための思考力や判断力、表現力が身につけているかどうか。	活用問題のペーパーテスト等 振返り、レポート、提出物の内容、授業中の取組み状況の見取り
主体的に学習に取り組む態度	知識、技能の獲得や思考、判断、表現力を身につけることに向けた粘り強い取組みの側面と自分の学習を調整しようとする側面	ノートやレポートの内容 授業の取組み状況 授業中の行動観察 ※生徒の自己評価や相互評価あり

●授業での小テストや授業の取組みの様子、提出物(課題)の内容・質も評価の対象です。

●指導要領の目標に基づき、自分の達成度や課題をわかりやすく伝える評価に取り組めます。

その2 教育活動全般で「3つの力」を育み、一人残らずすべての生徒の「生きる力」を育みます。

- ・「学習指導」「学級指導」「生徒会指導」「生徒指導」で生徒の意欲・自己肯定感を高めます。
- ・「総合的な学習」を軸にしたカリキュラムで、これからの社会を「生き抜く力」を育てます。

その3 ICTを効果的に活用した授業づくりなどで、学びの保障を進めます。

- ・English 4Skillsを活用した英語科授業など、ICTを生かして学びを保障します。

その4 命と人権を守る教育をすすめます。

- ・コロナ禍や自然災害から身を守る教育と、食や健康について学ぶ教育で命を守ります。
- ・身近な差別、いじめや人権侵害を許さない力を育み、一人一人の人権を守ります。

その5 行事の精選など、コロナ禍や社会の変化に対応した学校教育活動への転換を進めます。

- ・体育祭や文化祭は2学期に、内容を精選して行うなど、行事を見直します。
- ・部活動時間や学校連絡用電話の対応時間を変更します。